

# 総務文教常任委員会

アプリを活用した  
情報発信充実事業

# 市が行う情報発信の課題



市の情報が  
早く知りたい  
なあ

広報紙は  
あまり  
読まないし

市が行う情報発信の課題は、**知りたい情報**がどこにあるかわからない、広報紙を読む**若者**が少ない、**災害時**における迅速な情報発信などがあります。



# 山陽小野田市 公式LINE

＼はじめました！／

スマートフォンが普及し、日常生活におけるICTの利用が増大するなか、市民の約7割が利用する「LINE」を活用し、利便性のあるツールの1つとして、情報発信の向上を図る事となりました。

◆導入経過 令和4年12月 **運用開始**

◆事業費 (令和4年12月～令和5年3月の4カ月)  
**209万9,000円**

◆財源 【全額国の補助金】  
新型コロナウイルス感染症対応  
地方創生臨時交付金

令和4年12月から運用を開始しました。事業費については令和4年度は4か月分で209万9,000円です。財源は全額国の補助金を活用しています。

# 4,234人

## 令和5年8月末

(本市の人口 59,676人)

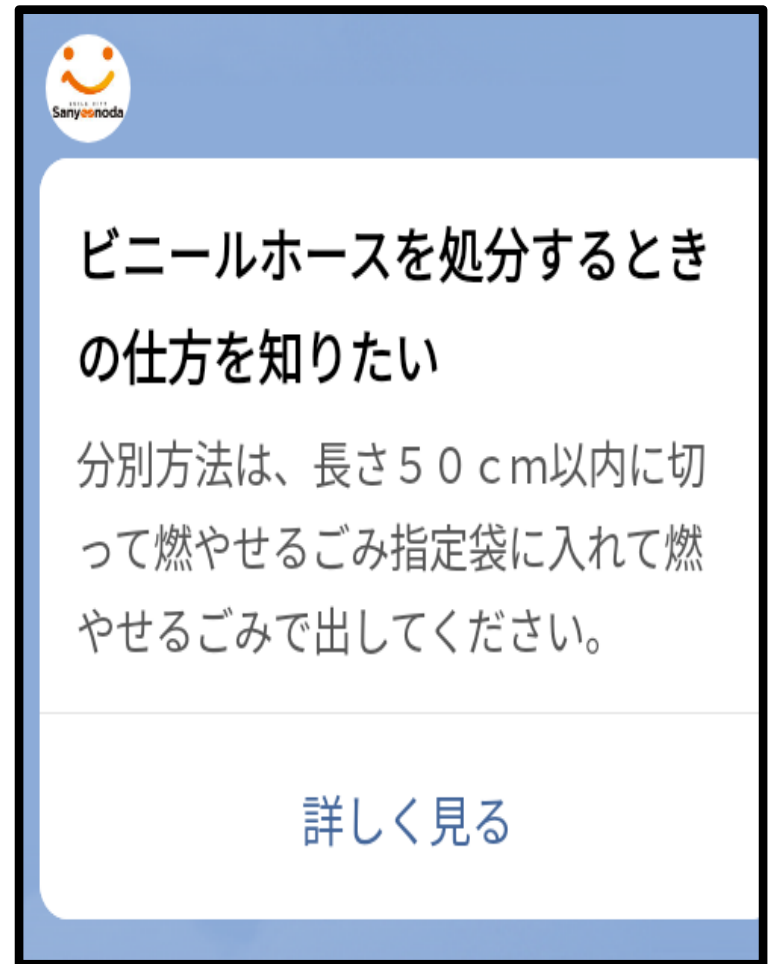
令和5年3月末時点でのLINE友達登録人数は3,013人ですが、令和5年8月末までのLINE友達登録人数は、4,234人になっています。市は登録人数の増加に向け取り組んでいます。

# 便利な機能①



LINEの便利な機能の1つめは、**リッチメニュー機能**です。  
LINEのトーク画面下部に固定で表示されるメニューです。  
**基本メニュー・まちの魅力・防災情報**の3つがあります。

## 便利な機能②



LINEの便利な機能の2つめは、**自動応答機能**です。LINEのトーク形式により質問に自動で回答し、情報を提供します。例えば「チャットで質問」をタップし「ホース ゴミ」と入力するだけで、ビニールホースの捨て方を教えてくれます。

## 便利な機能③



【萩展】「第9回現代ガラス展in  
山陽小野田 特別作品展」開催  
中！

LINEの便利な機能の3つめは、**プッシュ通知機能**です。  
毎週月曜日と木曜日に約4件の情報を配信し、広報誌を補  
うものとして活用しています。また、設定することで必要な  
ジャンルの情報のみを受け取ることができます。



# 便利な機能④

9月16日(土)



山口県竜巻注意情報 第1号  
16日18時38分発表

山口県西部は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

16日19時50分まで有効

山口県竜巻注意情報 第1号  
16日18時38分発表

18:39

18:39

LINEの便利な機能の4つめは、**防災情報の即時発信機能**です。警報、注意報等が発令されると同時に情報を受け取ることができます。先日発令された竜巻注意情報はただちに情報が送られてきました。

**LINE@**  
はじめました  
友だち募集中!



## 委員会審査で明らかになった事項

今後イベントなどを活用して、新規LINE登録者を増やしていきます。また研修などを行い各課職員のLINE配信への意識を高め、より有益で幅広い情報発信を目指していくとのことです。

「友だち登録→QRコード」  
で左記 QRコードを読み込んで  
登録してください。



全世代を対象として、登録していただけるようにPRしています。  
QRコードを読み込み、是非、**友達登録**をして下さい。  
山陽小野田市の最新情報を受け取ろう！

# 民生福祉常任委員会

空家等の適正管理の補助事業

- ①老朽危険空家等除却促進事業補助金
- ②空き家利活用改修補助金
- ③空き家家財道具等処分費補助金



今後とも空き家の増加が見込まれることから、空き家問題が深刻化することを踏まえ、所有者等の負担を軽減するため本市では空き家に関して3つの補助事業を行っています。

令和5年度

# 老朽危険空き家等 除却促進事業 補助金交付制度

山陽小野田市が  
最大  
50万円  
補助します。



## ①老朽危険空き家等除却促進事業補助金

倒壊や建築材の落下のおそれのある老朽危険空き家などの除却(解体)を行う所有者や相続人に対し、補助金を交付するものです。

令和5年度

# 老朽危険空家等 除却促進事業 補助金交付制度

山陽小野田市が  
最大  
50万円  
補助します。



補助金額は対象経費の3分の1で、上限額は50万円です。  
令和4年度は申請が12件で、不良度判定の結果、8件に  
補助金が交付されました。

# 令和5年度山陽小野田市 空き家バンク 利活用改修補助金

最大 **100** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の改修費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索 →

●アットホーム(株)



●(株)ライフ



対象  
空き家

以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件又は登録されていた物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物で2分の1以上が居住用のもの
- 建築年数が10年以上経過しているもの
- 土砂災害特別警戒区域外にあるもの

## ②空き家利活用改修補助金

空き家の利活用の促進や住環境の向上を図ることを目的とした補助金で、空き家バンクに登録されているか、過去に登録されていた物件が対象となります。



# 令和5年度山陽小野田市 空き家バンク 利活用改修補助金

最大 **100** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の改修費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索 →

●アットホーム(株)



●(株)ライフ



対象  
空き家

以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件又は登録されていた物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物で2分の1以上が居住用のもの
- 建築年数が10年以上経過しているもの
- 土砂災害特別警戒区域外にあるもの

補助金額は、市外からの転入者には、対象経費の2分の1で、15歳未満の人がいる世帯には最大100万円、それ以外の世帯には最大50万円となっています。

# 令和5年度山陽小野田市 空き家バンク 利活用改修補助金

最大 **100** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の改修費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索 →

●アットホーム(株)



●(株)ライフ



対象  
空き家

以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件又は登録されていた物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物で2分の1以上が居住用のもの
- 建築年数が10年以上経過しているもの
- 土砂災害特別警戒区域外にあるもの

補助金額は、市内での転居者には、対象経費の3分の1で、15歳未満の人がいる世帯に最大50万円、それ以外の世帯が最大25万円となっています。

# 令和5年度山陽小野田市 空き家バンク 利活用改修補助金

最大 **100** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の改修費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索 →

●アットホーム(株)



●(株)ライフ



対象  
空き家

以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件又は登録されていた物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物で2分の1以上が居住用のもの
- 建築年数が10年以上経過しているもの
- 土砂災害特別警戒区域外にあるもの

令和4年度は、申請・交付件数とも1件で、市外からの転入者がシステムキッチンやサッシの改修を行い、予算額150万円に対して45万4,000円の実績となりました。

# 令和5年度山陽小野田市空き家

## 家財道具等処分費補助金

最大 **10** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の家財道具処分費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索



●アットホーム(株)



●(株)ライフ



以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物



### ③空き家家財道具等処分費補助金

家財道具などの処分費用の一部を補助する制度です。  
対象は空き家バンクに登録されている物件で、補助金額は対象経費の2分の1で、上限額は10万円です。

# 令和5年度山陽小野田市空き家

## 家財道具等処分費補助金

最大 **10** 万円

空き家の利活用の促進及び住環境の向上を図ることを目的に、空き家バンク登録物件の家財道具処分費用の一部を補助します。

登録物件は、

全国版空き家・空き地バンク



で検索



●アットホーム(株)



●(株)ライフル



以下の要件全てを満たす空き家

- 空き家バンクに登録されている物件
- 年間を通して使用実績のない常時無人な状態の建物



令和4年度は、申請、交付とも3件の計16万円で、予算額50万円を大きく下回っています。ちなみに空き家バンクに登録されている物件は、現在21件です。

- ①老朽危険空家等除却促進事業補助金
- ②空き家利活用改修補助金
- ③空き家家財道具等処分費補助金



令和4年度の決算額は、3事業とも予算額を下回っており、住環境の整備や安心安全なまちづくりを進めるため、更なる周知、啓発活動が必要と考えます。

- ①老朽危険空家等除却促進事業補助金
- ②空き家利活用改修補助金
- ③空き家家財道具等処分費補助金



そこで、委員会では市に対して、補助金額を拡大すべきことと、空家等の適正管理の補助金、空き家バンク等を活用して更に事業を進めるべきことを提言しました。

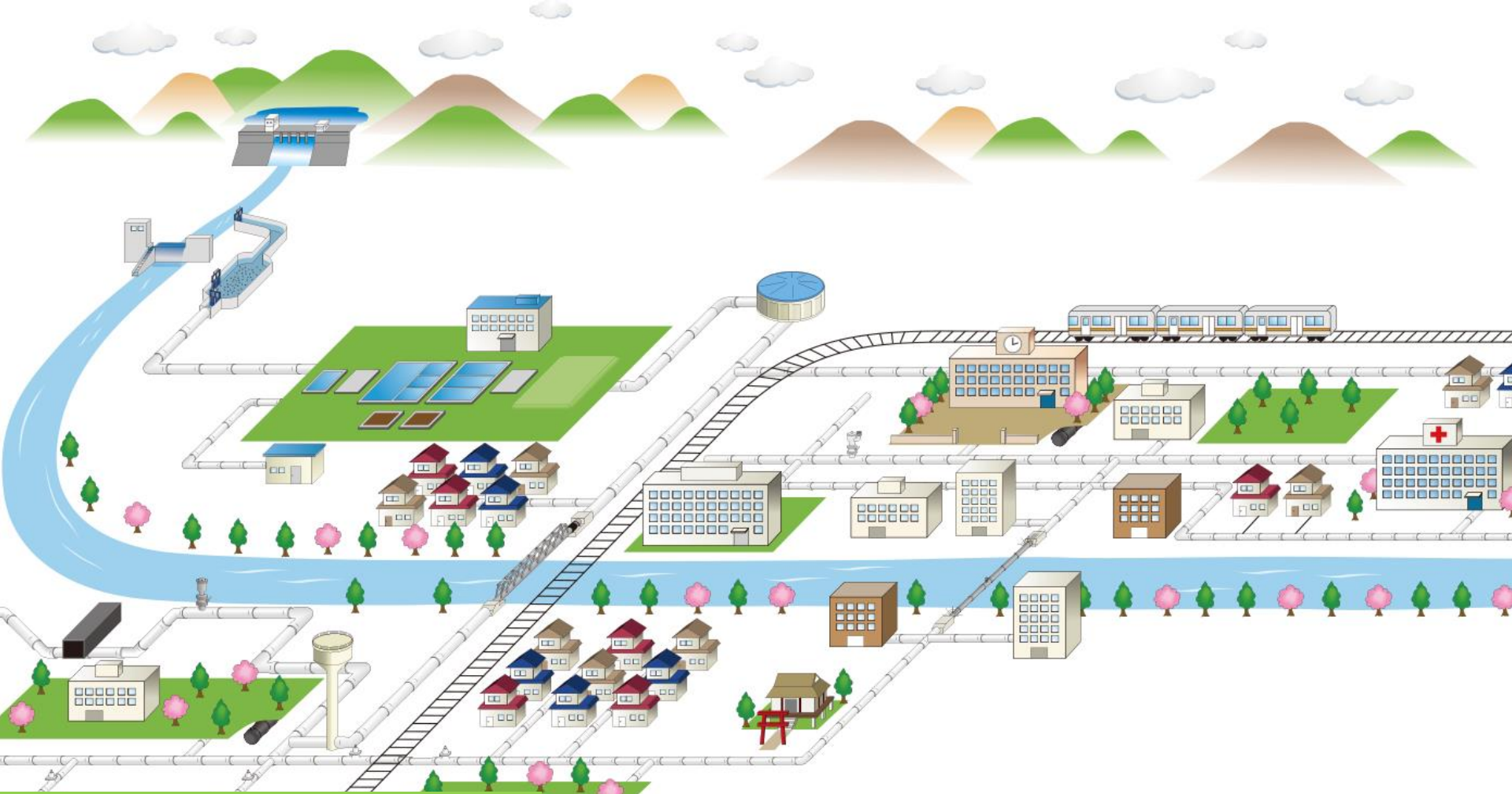
# 産業建設常任委員会

## 水道料金の改定について



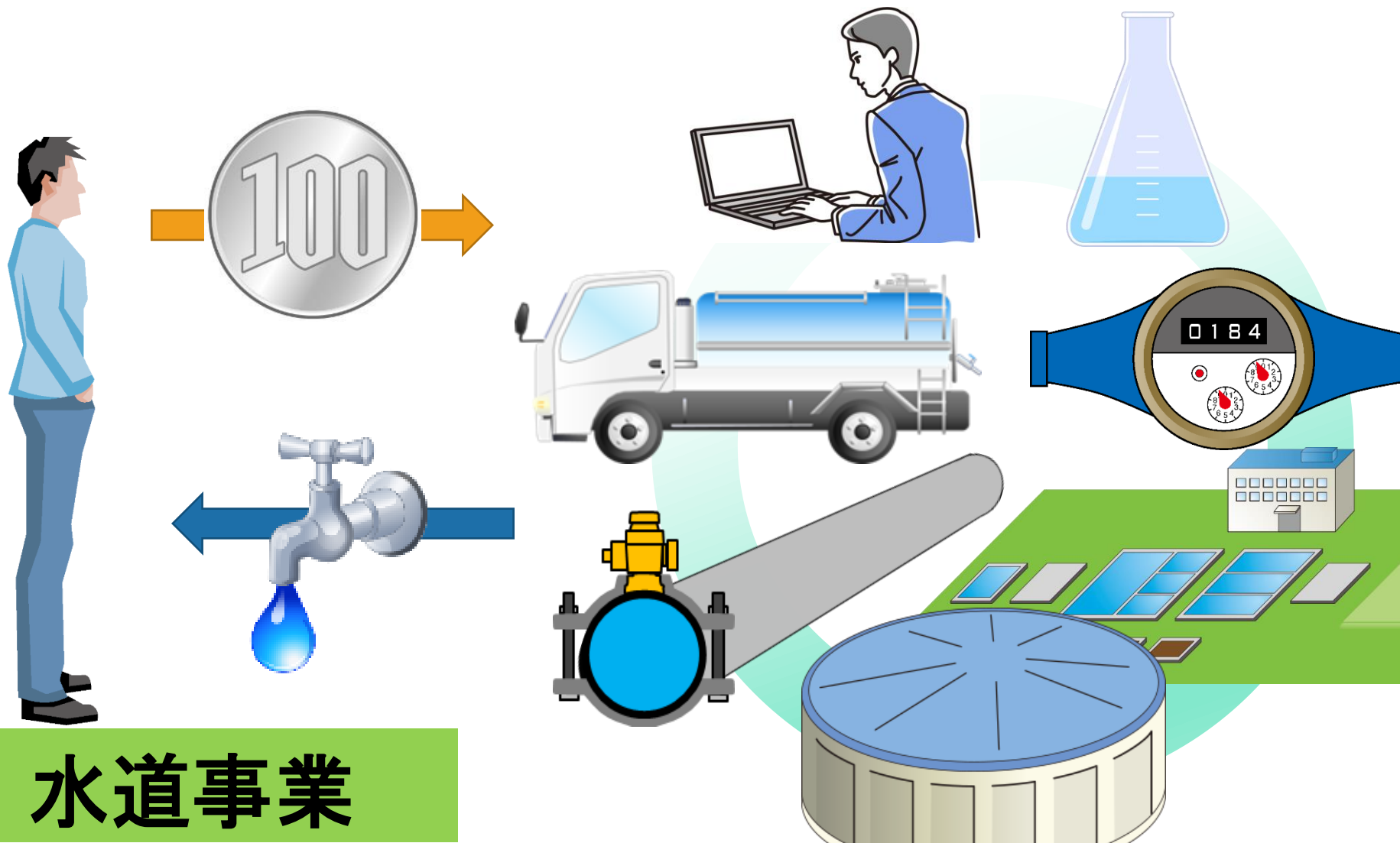
イラスト・写真：日本水道協会 水道PRパッケージ  
水道耐震化ポータルサイト





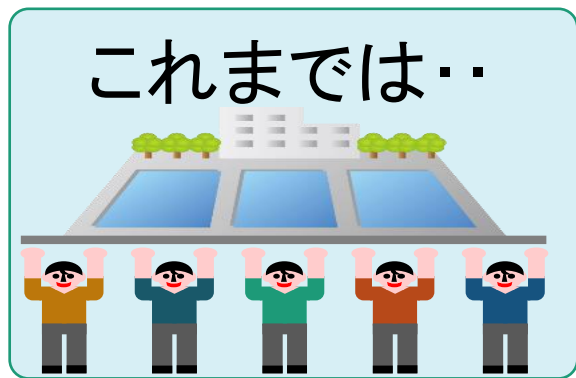
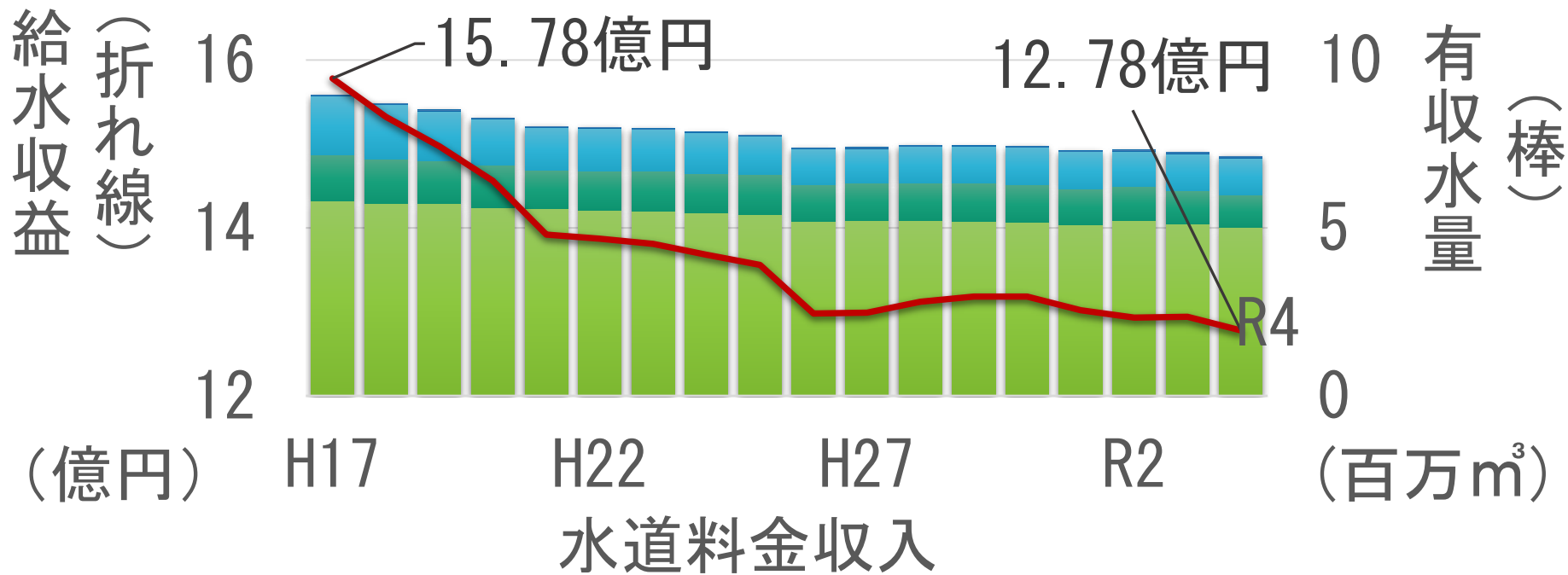
## 改定内容

今回の改定は、「子や孫と共に支える、水道システム」を構築するために必要な水道施設の更新財源を確保するため、料金を平均19.4%値上げするものです。



## 水道事業

「受益者負担」による「独立採算制」の原則があり、水道を利用した人が支払った水道料金によって事業運営（施設の更新・維持管理）をすることが基本となります。



収入の元となる使用量は人口減少や節水機器の普及により減少し、収入も平成17年から約3億円減少しています。また、施設の老朽化も進行し、耐震化への対応も迫られています。



市内の水道管約430kmのうち法定耐用年数(40年)を経過した水道管は全体の約43%になり、南海トラフ地震などへの対応を急がなくてははいけません。



老朽化した水道管

**水道管の老朽化や地震対策のため、更新ペースを上げる必要性はありますが、一度の料金改定では、市民生活への影響が大きくなります。**



**当初の8年間は平均19.4%の値上げが必要ですが、市民生活への影響が大きいことから、**

# 地震に強い水道管を 布設しています



この水道管は、地震や地盤のずれに合わせて伸縮し、ねばり強くしなやかに曲がる構造になっています。

工事中はご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

山陽小野田市水道局 (0836) 99

当初4年間は激変緩和措置として、平均12.9%の値上げに抑え、不足分は一般会計の繰出しにより対応することになりました。

令和6年～	13mm 激変緩和期間(2か月分・消費税込み)		
水量	旧料金	激変緩和料金	差額
8m <sup>3</sup>	2,376円	2,640円	264円
20m <sup>3</sup>	3,168円	4,224円	1,056円
40m <sup>3</sup>	5,808円	6,864円	1,056円
60m <sup>3</sup>	8,448円	9,504円	1,056円
150m <sup>3</sup>	20,328円	21,384円	1,056円

平均的な一般家庭では、令和6年7月請求(6月検針)以降の料金から、2か月40m<sup>3</sup>使用の場合で1,056円(528円/月)の値上げとなり、



令和10年～	13mm (2か月分・消費税込み)		
--------	-------------------	--	--

水量	激変緩和料金	改定料金	差額
8m <sup>3</sup>	2,640円	2,838円	198円
20m <sup>3</sup>	4,224円	4,554円	330円
40m <sup>3</sup>	6,864円	7,414円	550円
60m <sup>3</sup>	9,504円	10,274円	770円
150m <sup>3</sup>	21,384円	23,144円	1,760円

令和10年7月請求(6月検針)以降は、さらに550円(275円/月)値上げとなります。



**値上げ分の料金は、全て老朽管や施設の更新に充て、子や孫の世代まで安定した水道システムを維持するために使われます。**



## 自由討議

値上げについて、市民へ説明し、意見を聴くべきではないか。  
市民の理解を深めるため、審査を継続すべきではないか。



## 自由討議

水道は大切なライフラインであり、老朽化した施設の更新や耐震化は喫緊の課題となっており、安心安全な水道事業のため、料金改定による財源確保は必要である。



## 審査結果

いろいろな意見が出ましたが、慎重審査のもと、委員会として賛成多数で可決しました。

本会議でも賛成多数で可決しました。